

船橋市立リハビリテーション病院 第5次中期目標達成状況評価(案)

1. 採点基準及び評価について

第5次中期目標達成状況の評価にあたっては、各目標ごとの評価を行うものとし、それぞれに4段階の採点を行った。評価および採点の基準は以下の通りである。

【評価】

- S・・・目標が十分達成されている
- A・・・目標が達成されている
- B・・・目標が概ね達成されている
- C・・・目標が達成されていない

【採点の基準】

目標1 在宅復帰率

目標2 市立リハビリ病院へ入院してから退院するまでの日数(平均在院日数)

目標3 リハビリテーション効果(FIM)

疾患全体が

S・・・目標を達成している。

A・・・目標値の95%以上で達成している。

B・・・目標値の80%以上で達成している。

C・・・目標値の80%未満である。

目標4 入院患者満足度

目標5 外来患者満足度

目標6 訪問患者満足度

<細項目の採点基準>

・各目標中の細項目で、目標を達成している・・・S

・各目標中の細項目が目標値の95%以上で達成している・・・A

・各目標中の細項目が目標値の80%以上で達成している・・・B

・各目標中の細項目の実績が目標値の80%未満である・・・C

<目標の評価>

S・・・細項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合以上である

A・・・細項目がS・Aのいずれかで構成されており、Sの割合がAの割合未満である

細項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合以上である

B・・・細項目がS・Aのいずれか及びBで構成されており、S・Aの割合がBの割合より少ない

細項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合以上である

C・・・細項目がS・A・Bのいずれか及びCで構成されており、S・A・Bの割合がCの割合より少ない

目標7 病床稼働率

目標8 経常収支比率

項目の実績値が

S・・・目標を達成している。

A・・・目標値の95%以上で達成している。

B・・・目標値の80%以上で達成している。

C・・・目標値の80%未満である。

目標9 全職種に対する教育プログラムの実施

目標10 継続的なリハビリテーションサービスの提供体制の構築に努める

目標11 地域住民との良好な関係を築くよう努める

取り組み実施の状況が

S・・・各年度の行動計画以上の事業を実施した。

A・・・各年度の行動計画どおりの事業を実施した。

B・・・各年度の行動計画にある事業は実施回数が少なかった。

C・・・各年度の行動計画にある事業は実施できなかった。

2. 第5次中期目標達成状況評価

目標1 在宅復帰率 (事業報告書 P29、30)

評価：S

疾患全体は88.9%であり、目標値(87.0%以上)を達成した。

各項目を見ると、脳血管系86.6%(目標値84.0%以上)、整形外科系94.1%(目標値93.0%以上)、廃用症候群87.9%(目標値85.0%以上)と高い水準で達成できていた。

今後も引き続き、より多くの患者が在宅復帰できるように努めていただきたい。

目標2 市立リハビリ病院へ入院してから退院するまでの日数

(事業報告書 P31、32)

評価：S

疾患全体は75.6日であり、疾患全体の目標値(79.0日以下)を達成した。

廃用症候群においては、70.3日と目標の日数(60.0日以下)を超過してしまっただが、重症の入院患者の割合が増えたことに伴い、入院治療日数の増加、退院調整の困難なケース等が要因となっていると考えられる。

引き続き、円滑な退院に向けた取り組みに努めていただきたい。

目標3 リハビリテーション効果(FIM) (事業報告書P33、34)

評価：S

疾患全体は25.5であり、目標値(24.0以上)を達成した。

特に廃用症候群においては21.6(目標値15.0以上)と目標値を大きく上回る結果となった。

今後も引き続き質の高いリハビリテーションの提供を期待する。

目標4 入院患者満足度 (事業報告書 P35～37)

評価：A

各項目において、目標がほぼ達成されていた。

「退院後の生活説明」、「病院案内・掲示」、「食事」において満足度がやや不足した部分はあったものの、それ以外の項目は高い満足度を得ていた。

満足度が低くなった項目については、原因の究明と改善に取り組み、満足度の向上に取り組んでいただきたい。

目標5 外来患者満足度 (事業報告書 P38～40)

評価：S

各項目において目標がほぼ達成されていた。

「リハビリテーション」については、「満足のみ」の割合が63%とわずかに目標値(65%以上)に満たなかったが、「職員の対応」では「満足+やや満足」の割合が97%(目標値85%以上)と高い満足度を得られており、指定管理者がスタッフの接遇レベルの向上に努めた結果が評価されたものと考えられる。

目標6 訪問患者満足度 (事業報告書 P41、42)

評価：S

全項目において目標が高いレベルで達成されていた。

今後も引き続き質の高い訪問リハビリテーションを実施し、満足度を維持していただきたい。

目標7 病床稼働率 (事業報告書 P43、44)

評価：S

実績は99.4%であり、目標(95.0%以上)が十分達成されていた。

今後とも医療サービスの向上、患者満足度の向上により、市民から信頼され、選ばれる病院であり続けるとともに、病床管理の効率化に努めていただきたい。

※令和4年度は患者数の減等により稼働病床180床で運営を行ったことから、180床に対する病床稼働率の数字で評価を行った。

目標8 経常収支比率 (事業報告書 P45、46)

評価：S

実績は104.0%であり、目標(103.0%以上)をほぼ達成した。

経常利益も前年度から上昇しており、収入の確保や費用の削減に努めていたものと評価できる。引き続き健全な病院経営を維持していただきたい。

※令和4年度は患者数の減等により稼働病床180床で運営を行ったことから、180床運営による経常収支比率の数字で評価を行った。

目標 9 全職種に対する教育プログラムの実施 (事業報告書 P 47)

評価：S

法人内の研修や研究発表をWEB形式に切り替えて実施するほか、外部のWEB形式の学会や研修会へも積極的に参加していた。

新型コロナウイルス感染症の影響が引き続く中、従来どおりの教育プログラムを実施するように、指定管理者として努力していたことがうかがえる。

目標 10 継続的なリハビリテーションサービスの提供体制の構築に努める
(事業報告書 P 48)

評価：S

退院後も外来・通所・訪問リハビリテーションサービスを実施するとともに、地域リハビリテーション関係者の紹介・相談・助言を行うなど、退院後の継続的なリハビリテーションの実施が促されていた。また、市の事業にも積極的に参加し、リハビリテーションの立場から船橋市全体へ貢献していた。

今後ともこれらの取り組みを続けていただきたい。

目標 11 地域住民との良好な関係を築くよう努める (P 49)

評価：B

新型コロナの影響により夏祭りやロビーコンサートなど対面によるイベントは開催できなかったが、オンラインにて市民公開講座を開催したり、情報誌を年2回発行し配布する等、地域住民と良好な関係を築くよう努めていた。

今後も地域の方が親しみやすい病院運営を通して地域リハビリテーションの普及啓発に努めていただきたい。